

第5章 目標の評価指標

5-1 計画の評価指標と目標

本計画の達成状況を計るため、指標及び目標値を定めます。

評価指標

評価指標	現況値	目標値
指標 1 公共交通を利用できるエリアに居住する市民の割合	99.6%	100.0%
指標 2 市内鉄道駅乗車人員	121,640 人/日	134,700 人/日
指標 3 路線バス利用者数	62,460 人/日	72,500 人/日

【指標 1】

- ・鉄道駅から半径 800m以内、バス停留所から半径 300m以内、タクシー営業所から半径 10km 以内の公共交通利用圏域に含まれる人口の割合。2022 年度国勢調査のメッシュ推計データに 2024 年度時点の圏域を反映し算出。

目標値と現況値の差である 0.4%の市民が居住しているエリアは、山間部であり、主に自家用有償旅客運送の導入によるきめ細かい交通サービスで目標達成を図ります。

【指標 2】

- ・事業者からの提供及び静岡市統計調査資料
- ・目標値は新型コロナ禍前の 2019 年度実績値より算出

【指標 3】

- ・事業者からの提供及び静岡市統計調査資料
- ・目標値は新型コロナ禍前の 2019 年度実績値より算出

5-2 モニタリング指標

評価指標とは別に各基本方針の進捗を確認するために、モニタリング指標を定めます。

モニタリング指標

基本方針1	基本方針2	基本方針3	指標	2024年度	2030年度
○			指標4 静岡鉄道運行本数	261本	現状維持
○			指標5 路線バス運行本数	2,429本	現状維持
	○		指標6 地域公共交通結節点の設置数	2箇所	5箇所
	○		指標7 地域主体の自家用有償旅客運送 (公共ライドシェア〔バス型〕) の導入地区数	1地区	12地区
		○	指標8 GTFS-JP※データの整備事業者数	2事業者	全事業者
		○	指標9 運輸部門のCO ₂ 排出量	138万t (基準年2013年度)	84万t

【指標4】

- ・事業者からの提供及び静岡市統計調査資料
- ・公共交通の供給側の利便性を示す簡単な指標

【指標5】

- ・事業者からの提供及び静岡市統計調査資料
- ・公共交通の供給側の利便性を示す簡単な指標
- ・【指標7】「地域主体の自家用有償旅客運送(公共ライドシェア〔バス型〕)の導入地区数」と連動し、都市部のバス運行本数を維持するため、『現状維持』とする(P56:4-2-1 参照)

【指標6】【指標7】【指標8】

- ・事業の進捗を確認する指標
- ※GTFS-JP(General Transit Feed Specification)
経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的として定められた、標準的なバス情報フォーマットにおける静的情報。

【指標9】

- ・第3次静岡市地球温暖化対策実行計画に基づき目標を設定。
- ・2030年度に確認できる最新のデータをもって評価する。